

下妻生活学校が手作りマスクを寄贈

11月12日、下妻生活学校(渡辺節子委員長)から、来春入学予定の新小学1年生向け手作りマスク410枚の寄贈を受けました。委員長の渡辺さんは、「新型コロナウイルスの影響により思うような活動ができない中、自分たちなりの貢献の仕方を考えました」と話しました。下妻生活学校は会員27人、生活者の視点に立って、環境問題、少子高齢化問題、食品ロス問題などの身近な生活課題に取り組んでいます。



左から横瀬教育長、鈴木さん、渡辺委員長、菊池市長

令和2年度(上半期) 上下水道事業の業務状況

問 上下水道課
☎ 44-5311
FAX 44-5312

予算の執行状況

区分		予算額	執行額	対予算比率
収益的収支	収入	1,004,108,000円	526,726,454円	52.5%
	支出	1,004,108,000円	407,187,503円	40.6%
資本的収支	収入	871,138,000円	101,568,750円	11.7%
	支出	1,160,784,000円	191,353,759円	16.5%

給水状況

給水世帯	15,410世帯
給水人口	40,066人
上期給水量	1,933,592m ³
1日平均給水量	10,566m ³

予算の執行状況

区分		予算額	執行額	対予算比率
収益的収支	収入	764,976,000円	457,665,110円	59.8%
	支出	758,577,000円	354,066,814円	46.7%
資本的収支	収入	569,902,000円	79,268,955円	13.9%
	支出	746,472,000円	249,023,285円	33.4%

下水道の使用状況

下水道使用世帯	3,538世帯
使用人口	8,650人
上期汚水量	470,666m ³
1日平均汚水量	2,336m ³

市では地方公営企業法に基づき、上下水道事業の業務状況を年2回公表しています。今回は令和2年度上半期(4月1日～9月30日)の業務状況をお知らせします。

有料広告欄



大輪の菊 彩り華やかに

第35回下妻市菊まつり 11月1日～25日



色彩豊かな特作花壇



厚物は、花弁が鱗状に幾重にも重なって咲く

本市の風物詩となっている恒例の大宝八幡宮の菊まつりは、今年で35回目を迎えました。会場には、下妻市菊花会(大月詮雄会長)の会員が丹精込めて育てた菊約590鉢が並び、来場者の目を楽しませていました。展示された作品は、花弁が大きく盛り上がる「厚物」、管状に流れるように花弁を広げる「管物」、菊花を組み合わせて富士山などをかたどった「特作花壇」など。大月会長は、「今年は長梅雨や猛暑の影響で育てるのに苦労しましたが、平年並みの花にできたと思います」と話していました。

下妻市母親クラブが企画した「ハロウィン市役所スタンプラリー」が開催され、同クラブの親子12組などが参加し、ハロウィンを楽しみました。今年には新型コロナウイルス感染症対策で密にならないよう工夫し、参加者を3つのグループに分けて、市役所の2階を1周し、下妻市社会福祉協議会までをパレードしました。

子どもたちは人気アニメのキャラクターや、魔女などに仮装して秘書課、財政課などを巡り、スタンプを4つ集めた子どもたちには市民グループのShi♡shimaiからお菓子が配られました。

小さなお客様が市役所に



どんなシールがもらえたかな



商品を選ぶ来場者

コロナ禍でも安心・安全に楽しめるイベントのモデルケースを作ろうと、Shi♡shimaiが主催し、Waiwaiドームしもつまをメイン会場として開催されました。会場はこのほかにリフレこかい、めぐりあい広場たかさいに設置し、メイン会場の様子をオンラインで見ることができました。また、参加者は好みの会場で、思い思いの時間を過ごしていました。このイベントは、市の特産物のPRや社会全体での子育てを支える環境づくり、女性の活躍の場の提供などについても事業のねらいとしており、プロのミュージシャンによる音楽ライブや、ハンドメイドサークル「陽だまりマルシェ」による販売も行われました。

「コロナ禍でも安心安全なイベントを」
Shi♡shimai STYLE PARTY ~With Music~ 10月25日

有料広告欄